◆荒井良明　選

《俳句は滑稽なり・俳句の本質は滑稽だ》

故・山本健吉は「俳句は滑稽なり。俳句は挨拶なり。俳句は即興なり」と看破した。八木健は「俳句の本質は滑稽」だとして滑稽俳句協会を立ち上げた。

《これが滑稽句なのはわかるが…》

火蟻来て事情聴取すヒアリング　　良明

世の多くの人は、こういうもののみを滑稽俳句だと思っているようだ。だから、「朝顔につるべ取られてもらひ水（加賀千代女）」も滑稽俳句ですよ、と言われると首をかしげるかもしれない。

《おもわず「クスッ」とさせる上品なおかしみ》

ブリタニカ国際大百科事典は「滑稽の様態」のひとつに「ユーモア」を挙げる。そして、ユーモアとは「おもわず笑いがこみあげてくるような、あたたかみのあるおもしろさ。上品なおかしみ（旺文社標準国語辞典）」である。「朝顔に釣瓶とられてもらひ水（加賀千代女）」という句が「あたたかみのある上品なおかしみ」に満ちた句であることにはご賛同いただけるだろう。人を「クスッ」とさせる、「おもわず笑いがこみあげてくるような」おかしみを持つ句。共感の「クスッ」を生む句である。ということは、千代女の掲句はユーモア溢れる句である。

ここでトリビアをひとつ。この句の本場の金沢では「朝顔に」ではなく「朝顔や」が奨励されているそうだ。「朝顔や釣瓶とられてもらひ水（金沢バージョン）」。

《滑稽←ユーモア、滑稽←風刺》

大根（だいこ）引き大根で道を教へけり　　一茶

ひん抜いた大根で道を教へられ　　誹風柳多留

『誹風柳多留』の句は、「馬鹿なことかな／＼」の前句に、一般の人がこれに続く句を考えて投句したものだ。日本テレビ系列の「笑点」の大喜利でも似たようなことをやっているのはご存じだろう。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

両句を比べたときに、百姓に対する視線の違いに気づく。「ひん抜いた…」の句には百姓に対する共感と愛情がほとんど感じられない。「教へられ」という受身の形を見ても、都市住民が百姓の野卑なふるまいを笑（嗤）っているような感じがつきまとう。

一茶の句は、語の洗練、切れがあること等により百姓に対する視線と相俟って、滑稽さがよりスマートだ。「温か味のあるおもしろさ」を有することで、一茶の句はユーモアの句として滑稽俳句に分類できよう。川柳の方の滑稽さは風刺に分類されるだろう。都市住民の百姓の野卑なふるまいへの風刺。

「大根で道を教へけり」と能動の形をとることで、一茶は百姓の側に立ち、都会人に自信をもって堂々と対峙する百姓に眩しささえ感じているようだ。信濃北部の百姓家に生まれた一茶だからこそ、百姓に対する視線があたたかいのかもしれない。

なおここでは「百姓」という言葉を使った。百姓の子孫である私には百姓に対する差別意識はない。この言葉を「差別的」と感じられる方は、適宜「農家」「農夫」等に読み替えられたい。

《おそるべき君等の乳房　～男を恐怖でとらえるのに充分な形～》

おそるべき君等の乳房夏来る　　西東三鬼

高校生のときから吉野弘の詩が好きだった。「乳房に関する一章」（詩集『ハワットの太陽』所収）をはじめて目にしたときにはうなった。詩人・吉野弘は、若い女性の乳房について「それはまるで／能力以上の旅装をととのえた／盲の船首の／かがやかしい顔つきのようで／男を／恐怖でとらえるのに充分な形だ」と描写した。詩人の言葉の力のすごさを私に教えてくれた詩のひとつである。（この詩の詳細については各位自ら全文にあたってほしい）。

《たった十七音で全てを言い表した西東三鬼》

のちに西東三鬼の掲句に接したときは、その価値がよくわからなかった。吉野弘の詩でそういう発想に接していたからかもしれない。ずっと年を経て、俳句の研究を始めてから、西東三鬼の掲句の価値を重く感じるようになった。た

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

った十七音でこんなにも豊富な内容を！　しかも、これが発表されたのは一九四八年。私が生まれるよりも前だ。

《男の女性の乳房フェチに対する風刺？》

　掲句は、男の女性の乳房に対するフェティシズムを風刺？　あるいは、男性の女性の乳房崇拝をユーモラスに指摘？　いずれにしても滑稽俳句の範疇に入る。日本の男は縄文の昔から女性の乳房にどきっとしてきた。その心の叫びと素直に解釈するのが最も正解なのかもしれない。　　（文中敬称略）

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。